

# 1

## 自分らしい ライフスタイルを 実現できるまち



## 施策



- 1.誰もがいきいきと輝き躍動できる場づくり
- 2.多様性を認め合い尊重するまちづくり
- 3.社会のつながりやコミュニティの強化
- 4.市民の目線に立ったまちづくり



## 重点項目

- 地域の活性化や地域課題の解決に向けて、自発的に行動する市民や事業者の取組を支援し、活躍の場づくりや、まちづくりへの市民参画を推進します。
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、働きやすい職場環境づくりや男性の家事や子育てへの参画などを推進します。
- 市民の利便性向上を目指して、ICTを活用した行政手続きの簡素化や、業務の効率化などを推進します。

## 関連指標

指標	基準値(基準年度)	目指す方向
男女共同参画推進事業所認定数	91事業所(R2) >>>	UP
地域コミュニティが実施するイベントや活動に参加している人の割合	R3実施アンケート数値 >>>	UP
市役所への手続きが利用しやすく便利と感じている市民の割合	R3実施アンケート数値 >>>	UP

# 誰もがいきいきと輝き 躍動できる場づくり

## 現状と課題

- 人口減少社会のなかで、まちが持続していくためには、そこに住む人々の生活や活動の充実が求められます。そして、まちをステージに人と人がつながり、集い、いきいきと活躍することが、まちに活力を生み出します。
- まちづくりの主役は市民であり、活動の根底には市民それぞれの想いがあることから、市民と行政とが将来のビジョンを共有するなかで、「まちを知り、愛着を深め、住むことに誇りを持ち、積極的に関わる」というシビックプライドを醸成し、市全体に浸透させていく必要があります。
- 主体的にまちづくりへ参画する人の拡大に向けては、市民、事業者、行政が互いの立場や役割を理解し合い、可能な分野から協働のまちづくりを推進できるよう、全庁的に取り組んでいく必要があります。
- 誰もが自分らしく活躍できるまちにするためには、ライフスタイルの変化やアクティブシニアの増加傾向なども見据えた女性や高齢者の活躍や、まちづくりに意欲のある市民のチャレンジを支援することが求められています。

## 方向性

### 動き出す 創り出す

- 誰もがまちづくりに参画しやすい協働のまちづくりを推進します。
- まちづくりに意欲のある市民のチャレンジを支援する体制を充実させます。

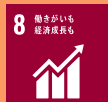
### 誇りと つながり

- 「自分自身が関わってまちを変えていく」というシビックプライドを醸成します。

### 心も体も 元気で健康

- 誰もが自分らしくいきいきと活躍できる社会を構築します。

関連する  
SDGs



## ▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
<p>1 シビック プライドの醸成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ まちについての自分のお気に入りを見つけ、楽しみ、多くの人と結びつくなど、沼津を愛し、誇らしく思う気持ちを広げ、それを様々な活動につなげていく取組を推進し、シビックプライドの醸成と市民への浸透を図ります。</li> </ul>
<p>2 誰もが 参画できる 協働の まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 事業等の企画段階から、市民、事業者、行政がそれぞれ持つ情報の提供や意見交換を行うなど、多様な主体のまちづくりへの参画を推進します。</li> <li>▶ まちづくりにおける市民活動の活性化を図るため、人材育成研修やNPO法人設立に関する支援などを推進します。</li> <li>▶ 民間のノウハウの活用による業務の効率化や市民の利便性の向上につなげるため、行政サービスにおける公民連携を推進します。</li> </ul>
<p>3 女性や 高齢者などの 活躍支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 女性や高齢者、障害のある人などが、それぞれの能力を存分に発揮して社会の中でいきいきと活躍できるよう、まちづくりへの参画の推進や、社会貢献できる仕組みづくりに努めます。</li> </ul>
<p>4 まちづくりに 意欲ある市民の チャレンジの 支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 市民や事業者が自発的に行うまちづくり活動や、人と人をつなげる交流の場づくりなどを支援し、市民の積極的なチャレンジを支援します。</li> <li>▶ 相談体制の確立や民間事業者等と行政との連携を促進し、持続可能な市民主体の取組を創出します。</li> <li>▶ 民間主導によるまちづくりの活性化を図るため、プレイヤー同士のネットワークを構築します。</li> </ul>

## ▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市男女共同参画基本計画
- 沼津市リノベーションまちづくり推進ガイドライン
- 沼津市市民協働に関する基本指針



# 多様性を認め合い 尊重するまちづくり

## 現状と課題

- 少子高齢化による家族形態の変化やグローバル化の進展、価値観の多様化など、時代とともに市民の生活様式や考え方も変化しています。
- 性別、年齢、障害の有無、国籍、価値観、文化などによって異なる取り扱いを受けることなく、個性と人権が尊重されるなかで、家庭、職場、学校、地域などにおいて、人々が安心して生活できる共生社会の実現が求められています。
- 男女があらゆる分野で対等に参画し、ともに責任を分かち合う社会の実現は、人口減少や少子高齢化が進む本市において、女性が活躍できる機会を創出し、社会の多様性と活力を高め、地域の経済力を発展させる上でも重要となっています。
- ワーク・ライフ・バランスによる生活と仕事の相乗効果の発揮や、個々の事情に応じた多様な柔軟な働き方を自分で選択することが可能となる働き方改革の推進などにより、市民が健康で心豊かに生活できるまちづくりが求められています。

## 方向性

### 動き出す 創り出す

- 多様な柔軟な働き方を選択できる社会の実現に努めます。

### 誇りと つながり

- 全ての人の多様性を互いに尊重し、自分らしく生きることができる社会の形成に努めます。
- 多文化共生社会の実現と国際交流の推進に努めます。

### 心も体も 元気で健康

- 仕事と家庭を両立できるワーク・ライフ・バランスの実現を推進します。

### 関連する SDGs



4 質の高い教育を  
みんなに



5 ジェンダー平等を  
実現しよう



8 働きがいも  
経済成長も



10 人や国の不平等  
をなくそう



11 住み続けられる  
まちづくりを



16 平和と公正を  
すべての人に



17 パートナシップで  
目標を達成しよう

▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
<p>1 多様性を認める社会の醸成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 日本語習得支援や日常生活相談など、言語や文化の違いなどによる外国人特有の不安を軽減するための支援を通じて、市内に居住する外国人が安心して快適に暮らし、能力を発揮することができる多文化共生社会の実現を目指します。</li> <li>▶ 姉妹都市・友好都市等との交流を様々な形で促進し、市民の国際相互理解の推進を図るとともに、国際化に対応できる市民の育成に努めます。</li> <li>▶ 地域、企業、国際交流団体等と連携し、市内に居住する外国人の支援や国際交流活動の推進に努めます。</li> <li>▶ 多様な性の在り方に対する理解を促進するための学習機会の充実や周知啓発に努めるとともに、様々な違いによって異なる不利益な扱いを受けることのない共生社会の実現に向け、多様性を認め合う心を育む教育を進めます。</li> </ul>
<p>2 男女共同参画の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 男女共同参画を進める事業所を認定し、その活動を広く紹介するなど、民間事業者における男女共同参画の自発的な取組を推進します。</li> <li>▶ 家庭や職場における男女共同参画に関するセミナーを開催するなど、性別役割分担の固定化に対する意識改革の推進や、男女共同参画の重要性の理解促進に努めます。</li> <li>▶ まちづくりへの女性の参画や、民間事業者において女性が活躍できる機会の拡大を推進します。</li> <li>▶ 休暇制度や短時間勤務制度の活用を推進するなど、男性の子育てや家事、介護へのより一層の参画の促進に努めます。</li> </ul>
<p>3 働き方改革の推進とワーク・ライフ・バランスの実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ テレワークや時間差勤務など、様々な働き方を提唱・支援し、自分らしい充実した生活の確保を推進します。</li> <li>▶ 誰もが活躍できる職場環境づくりが進むよう、働き方や職場風土の改革を促すとともに、働く人と事業主の相互理解を深め、ワーク・ライフ・バランスの実現を推進します。</li> </ul>

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市男女共同参画基本計画
- 沼津市子ども・子育て支援事業計画
- 沼津市子どもの貧困対策推進計画



# 社会のつながりや コミュニティの強化

## 現状と課題

- 人口減少・少子高齢化の進展や若年層の大都市への流出などにより、地域のコミュニティの担い手不足が生じていることから、活動内容の見直しや若者の参画による維持・活性化を図ることが、重要な課題となっています。
- 地域コミュニティ活動の拠点となる地区センターについては、地域住民が安全・安心で快適に利用できるように、適切な維持管理や利便性の向上を図ることが必要となっています。
- これまでの物理的な豊かさを追求してきた社会から、個々の多様な価値観に基づく心の豊かさが求められる成熟社会に変化してきていることから、多種多様な人のつながりによる地域の活性化や、自発的な社会活動への支援が重要になっています。



## 方向性

### 動き出す 創り出す

- 地域住民が安全・安心で快適に利用できる地域の交流拠点の充実に努めます。

### 誇りと つながり

- 地域コミュニティの地域特性を活かした世代間交流や活動を支援します。

### 心も体も 元気で健康

- 多種多様なコミュニティや社会活動を支援し、活気に満ちた地域づくりに努めます。

関連する  
SDGs



## ▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
1 地域コミュニティの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 市民と行政との協働による住みよい地域づくりを推進するため、協働のパートナーとなる自治会や各地区コミュニティ、地域における様々な活動団体との連携を促進します。</li> <li>▶ 自治会及び各地区コミュニティの担い手不足の解消を図り、運営改善に向けたセミナーを開催するなど、地域コミュニティ活動を支援します。</li> <li>▶ 世代間交流の促進や、地域課題に対する世代間での連携体制の構築と新たな取組などを支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。</li> </ul>
2 地区センターの機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域住民にとって最も身近で重要な交流拠点である地区センターについて、老朽化した施設の対策や設備の充実などに努め、安全・快適で、円滑な利活用の促進を図ります。</li> </ul>
3 多種多様な社会活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 専門性を活かして活動している個人や団体、地域企業、福祉施設等の多様な主体による地域コミュニティとの交流機会の拡充に努め、相互の連携・協力により地域の課題解決を図ります。</li> <li>▶ インターネットやSNS、趣味など、多様なコンテンツをきっかけに形成されるコミュニティや、そこから生まれる社会活動の支援に取り組みます。</li> </ul>

## ▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市市民協働に関する基本指針
- 沼津市公共施設マネジメント計画





# 市民の目線に立った まちづくり

## 現状と課題

- 人口減少・少子高齢化の進展により、財源や職員など地方公共団体の経営資源の制約が強まる一方で、解決すべき地域の課題は増大していくものと予測されます。
- 自治体運営においては、SDGsやSociety5.0をはじめとする社会の潮流、高度化・多様化する市民ニーズ等を的確に捉え、政策の選択と集中を行うとともに、業務の見直し等による効率的な市政運営が求められています。
- 広域生活圏を意識した近隣市町との連携や、公共施設の最適化・有効活用等の効率的な市政運営、積極的な情報公開等の市政の透明化が求められます。

## 方向性

### 動き出す 創り出す

- 効率的な施策の推進と公共施設の最適化・有効活用などを検討します。
- 新たな情報通信技術の活用等による効率的な市政運営の推進や、市民の利便性向上を図ります。

### 誇りと つながり

- 広域生活圏を意識した近隣市町との連携を推進します。

### 心も体も 元気で健康

- 情報公開の推進や官民データの活用などを図り、市民と行政の情報の共有と市民参画の拡大を推進します。

関連する  
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
<p>1 効率的な 施策推進と 市政運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 行政ニーズに的確に対応するため、新規施策等の立案と同時に、既存の施策等の優先順位付けや縮減等も検討しながら、効果的な施策の推進に努めます。</li> <li>▶ 市民ニーズに適合した、質の高い公共サービスを効率的・効果的に提供するため、行政改革の推進、適材適所の人材活用、機能的な行政組織づくりなどに取り組みます。</li> <li>▶ 自主財源の安定確保や投資効果の検証に基づく事務事業の統廃合などにより、効率的な財源配分に努めます。</li> <li>▶ 将来にわたって必要な公共サービスをより満足な形で提供し続けるため、利用需要に応じた公共施設の最適化と財政負担の軽減・平準化に取り組みます。</li> </ul>
<p>2 広域生活圏を 意識した 近隣市町との 連携の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 生活圏の拡大や価値観の多様化など、様々な社会情勢を背景とした新たな市民ニーズに対し、近隣市町との連携を推進し、適切に対応します。</li> <li>▶ 市政運営の効率化を図るため、近隣市町と共通する行政課題に対して共同で取り組みます。</li> </ul>
<p>3 情報公開の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 市政情報の積極的な公開と発信を進めるなど、市民との情報共有を推進し、市政の透明性の確保と市民参画の拡大を図ります。</li> <li>▶ 官民データの活用を図るため、本市が保有するデータのオープンデータ化を推進するとともに、適正に情報を利活用することができる担い手の育成に努めます。</li> </ul>
<p>4 市民の 利便性向上を 目指した 行政改革の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 個別に策定・運用していた「行政改革プラン」を総合計画に内包し、一体的な管理・運用を図ることにより、行政改革の更なる推進を図ります。</li> <li>▶ 経費削減に重点を置いた従来型の行政改革ではなく、新たな情報技術の活用等による市民サービスの質の向上を目指した行政改革を進めます。</li> <li>▶ 行政事務の効率化・高度化を推進するため、AIやRPA*などの先端技術の積極的な導入と活用範囲の拡大を進めます。</li> <li>▶ マイナンバーカードの普及とその利活用の促進やキャッシュレス対応など、行政手続きにおける市民の利便性向上と効率的な行政サービスの提供に努めます。</li> </ul>

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市公共施設マネジメント計画
- 沼津市情報化推進・官民データ活用推進計画